

8B43 クイックマニュアル

はじめにお読みください

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前に「クイックマニュアル」および「取扱説明書」をお読みいただき、正しくお使いください。

セイコーウォッチ株式会社

全国共通フリーダイヤル 0120-612-911

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

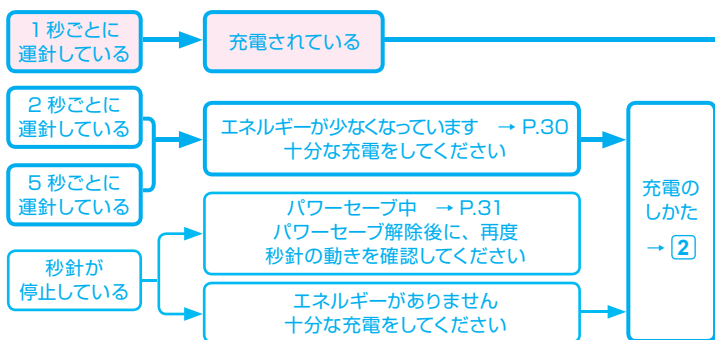
セイコーウォッチ株式会社

本社 〒105-8467 東京都港区虎ノ門 2-8-10
http://www.seiko-watch.co.jp/

① ご使用前に 取扱説明書 P.12 ~ P.13

① エネルギー残量を確認する

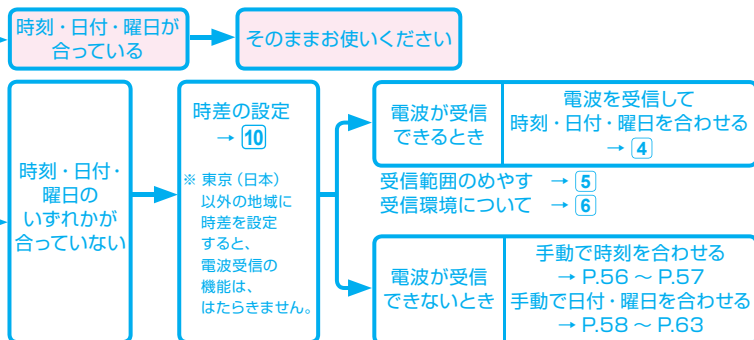
秒針の動きを確認して、エネルギーが不足しているときは充電をしてください。



※ 十分な充電後に1秒運針にならないとき → こんなときは「充電」 P.74

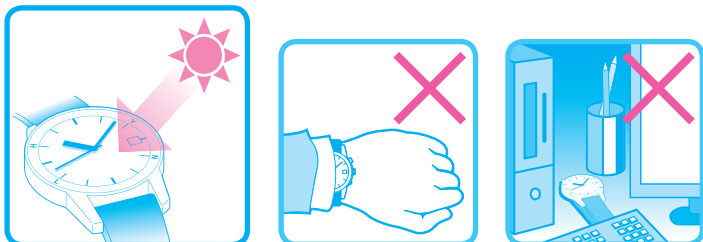
② 時刻・日付・曜日を確認する

※ この時計は、りゅうずを回しても針が動きません。時刻を修正するときは、下記のページを参照ください。



② 充電のしかた 取扱説明書 P.28

文字板に光をあてて充電してください。



快適にご使用いただくために、十分な充電をすることを心がけましょう。

時計を身につけているときに服の袖などで隠れてしまう場合、光のあたりにくい環境での継続的な使用や保管などが続く場合は、充電不足による電池切れが起こる可能性が高くなります。

※ 充電の際は、時計が高温にならないようご注意ください。(作動温度範囲は-10℃~+60℃です。)
※ 使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、右ページの表をめやすに十分な充電を心がけてください。

③ 充電にかかる時間のめやす 取扱説明書 P.29

下記の時間をめやすに、充電を行ってください。

照度 lx (ルクス)	光源	環境 (めやす)	フル充電まで	確実に1秒運針になるまで★	1日ぶん動かすには
500	白熱球	60W 60cm	—	—	6時間
700	蛍光灯	一般オフィス内	—	—	4時間
1000	蛍光灯	30W 70cm	—	40時間	3時間
3000	蛍光灯	30W 20cm	230時間	6時間	1時間
5000	蛍光灯	30W 12cm	150時間	4時間	35分
1万	蛍光灯	30W 5cm	60時間	1.5時間	15分
	太陽光	くもり			
10万	太陽光	快晴(夏の直射日光下)	30時間	30分	3分

★ この数値は、止まっていた時計に光をあて【確実に1秒運針になるまで】に必要な、充電所要時間のめやすです。この時間まで充電しなくても1秒運針になりますが、その状態ではすぐに【2秒運針】になる場合があります。この時間をめやすに充電してください。
※ 充電に必要な時間は、モデルによって若干異なります。
※ 運針について → ① エネルギー残量を確認する

④ 電波を受信して時刻・日付・曜日を合わせる 取扱説明書 P.15

■ 自動受信

この時計は、決まった時間に自動的に電波を受信して、時刻・日付・曜日を合わせます。自動受信は、午前2時と午前4時に行われます。

※ 受信に成功した時点で、自動受信を終了します。
※ 電波の受信により、最長12分かかります。

受信のときは時計を、電波を受信しやすい場所に置き、動かさないようにします。 → ⑥ 受信環境について

■ 強制受信

受信しにくい環境などで、自動受信ができないときは、いつでも任意に電波を受信させることができます。

→ 強制受信のしかた P.54 ~ P.55

※ 東京(日本)以外の地域に時差を設定すると、電波受信の機能ははたらかせません。時差の設定を確認してください。 → ⑩ 時差を設定する
※ 受信の成否は受信環境によって左右されます。 → ⑥ 受信環境について
※ 受信範囲の外では電波の受信はできません。 → ⑤ 受信範囲のめやす
※ 受信に成功しても時刻・日付・曜日が合わないとき。 → こんなときは:時刻、針のずれ P.76、日付・曜日のずれ P.78

⑤ 受信範囲のめやす 取扱説明書 P.16

送信所からの受信範囲のめやすは、約1,000kmです。(各送信所を中心に半径1,000km)



NICT(情報通信研究機構)により運用されています。
福島: 40 kHz
おおたかどや山 標準電波送信所
九州: 60 kHz
はがね山 標準電波送信所

※ 受信範囲のめやす内でも、条件(天候・地形・建造物・方角などの影響)により、受信できない場合があります。 → ⑥ 受信環境について

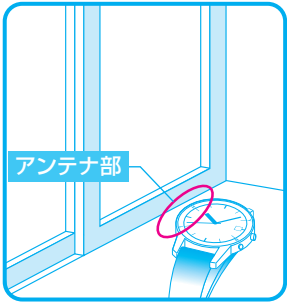
6 受信環境について 取扱説明書 P.17 ~ P.18

■ 受信しやすくするために

窓際などの電波を受信しやすい場所に置いてください。

アンテナは9時位置にあります。アンテナ部を窓の外や送信所の方向に向けると、より受信しやすくなります。

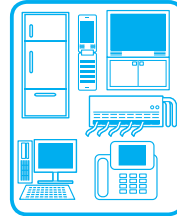
※ 送信所の場所 → ⑤ 受信範囲のめやす



安定した状態で電波を受信するために受信中は、時計の向きを変えたり、傾けたりなどせずに**静止した状態**にしてください。

※ 静止していない状態では電波の受信はできません。

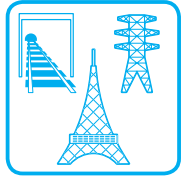
■ 受信しにくい環境



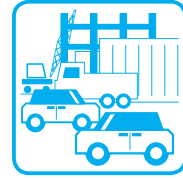
・ テレビ、冷蔵庫、エアコンなど家庭電化製品の近く
・ 携帯電話、パソコン、FAXなどOA機器の近く
・ スチール机などの金属製の家具の上や近く



・ ビルの中、ビルの谷間や地下



・ 高圧線やテレビ塔、電車の架線の近く



・ 工事現場、交通量の多い場所など、電波障害の起こるところ



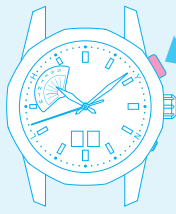
・ 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）

受信のときは、このような場所を避けてください。

7 受信ができているか確認する（受信結果表示について） 取扱説明書 P.20 ~ P.21

最後に受信した結果（成否）を5秒間表示します。

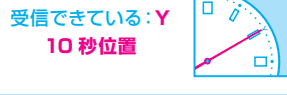
① ボタンAを1回押して、離す



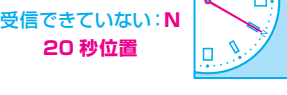
ボタンA
1回押して
離す

※ ボタンAを3秒以上長押しすると、秒針が【0秒位置】に移動し、強制受信のモードに入ります。その場合はボタンAをもう一度押すと、時刻表示に戻ります。

② 秒針が受信結果を示す



受信できている：Y
10秒位置



受信できていない：N
20秒位置

※ 5秒経過、または途中でボタンAを押すと時刻表示に戻ります。

■ 受信結果がYになったときは

- ・ 受信できています。そのままお使いください。
※ 受信に成功しても時刻・日付・曜日が合わないとき
→ こんなときは：時刻、針のずれP.76、日付・曜日のずれP.78

■ 受信結果がNになったときは

- ・ **時計を置く場所や向きを変えてみましょう**
受信範囲のめやす内でも、条件（天候・地形・建造物・方角などの影響）により、受信できない場合があります。→ ⑥ 受信環境について
また、受信範囲の外では電波の受信はできません。→ ⑤ 受信範囲のめやす
- ・ **違う時間帯に受信させてみましょう（強制受信の場合）**
同じ場所でも時間帯によって受信環境は異なります。電波の特性により、夜間のほうがより受信しやすくなります。
- ・ **受信できていても、手動で時刻を合わせると受信結果がリセットされてNになります**
※ りゅうすを2段引くと手動時刻合わせのモードに入り、時刻を修正しなくても受信結果がNになります。
- ・ **電波を受信しない場合は、クォーツ時計の精度でお使いいただけます**
※ 精度は平均月差±15秒です。

8 時差修正機能の特長 取扱説明書 P.22 ~ P.23

・ 日本を基準にして、海外の時刻に合わせます。

1時間単位で海外の時刻に合わせることができます。世界のほとんどの地域は、1時間単位の時差になっています。日本からみた世界各地の時差は【-20時間から+4時間】です。

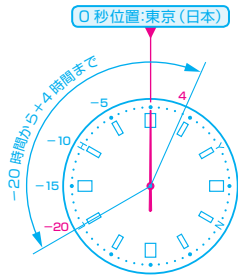
・ 時差を設定すると、

自動で目的地の時刻を表示します。

時差修正機能のモードでは、秒針の位置が時差を表わします。秒針をめやすにボタンを操作して、時差を設定しましょう。

東京（日本）以外に時差を設定すると、電波受信の機能ははたらきません。

- ⑩ 時差を設定する
- ⑨ 世界の主な地域の時差一覧



9 世界の主な地域の時差一覧 取扱説明書 P.26

東京以外のタイムゾーンに時差を設定すると、電波受信の機能ははたらきません。

時差設定 秒針位置	日本からの 時差	代表都市名（タイムゾーン）
51秒	-9時間	★ロンドン/UTC
52秒	-8時間	★パリ/ベルリン
53秒	-7時間	★カイロ
54秒	-6時間	★モスクワ
55秒	-5時間	ドバイ
56秒	-4時間	カラチ
57秒	-3時間	ダッカ
58秒	-2時間	バンコク
59秒	-1時間	香港
0秒	±0時間	東京（日本）
1秒	+1時間	★シドニー
2秒	+2時間	ヌーメア
3秒	+3時間	★ウェリントン
4秒	+4時間	（ウェリントンのDST）

時差設定 秒針位置	日本からの 時差	代表都市名（タイムゾーン）
51秒	-9時間	★ロンドン/UTC
50秒	-10時間	★アゾレス諸島
49秒	-11時間	（リオデジャネイロのDST）
48秒	-12時間	★リオデジャネイロ
47秒	-13時間	★サンティアゴ
46秒	-14時間	★ニューヨーク
45秒	-15時間	★シカゴ
44秒	-16時間	★デンバー
43秒	-17時間	★ロサンゼルス
42秒	-18時間	★アンカレッジ
41秒	-19時間	ホノルル
40秒	-20時間	ミッドウェー島

★印の地域ではサマータイムが導入されています。（2008/1月現在）

10 時差を設定する 取扱説明書 P.24 ~ P.25

① 秒針が停止するまでボタンBを押して、離す（4秒）

▶ 秒針が動いて、時差修正のモードに入ります。

針が動いていない状態が10秒以上続くと、自動的に時刻表示に戻ります。操作途中のときは①から操作をやり直してください。

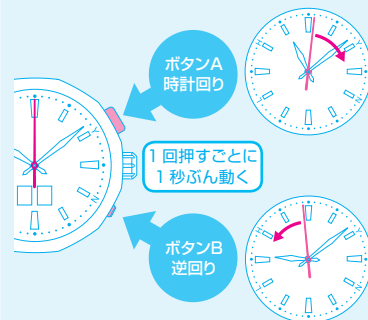


ボタンB
4秒押して
離す

※ ボタンBは先の細いものなどを使って押してください。→ P.10

② ボタンを押して秒針を動かし、時差を設定する

東京（日本）以外では、電波受信の機能ははたらきません。



ボタンA
時計回り

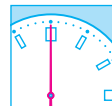
1回押すごとに
1秒ぶん動く

ボタンB
逆回り

※ ボタンは連続して押すことができます。

▶ 秒針の1秒ぶんが、時差の1時間ぶんです。

日本で使うとき
0秒位置に合わせます



その他の地域
で使うとき

世界の主な
地域の時差一覧
→ ⑨

針が動いていない状態が10秒以上続くと、自動的に時刻表示に戻ります。操作途中のときは①から操作をやり直してください。

③ 時分針の動きが止まると10秒後に自動的に時差修正モードが終了

▶ 日付・曜日が変わる場合は、その後で日付・曜針が動きます。

※ 日付・曜針が動いている間は、ボタン・りゅうすの操作はできません。

※ 海外から日本に帰国するときは時差を【0秒位置：東京（日本）】に設定してください。